

ハーエンキルヒエン=ジーガーツブルン
2018年3月27日

高速 CPU モデルのプロフェッショナルデバッグ

GreenSocs 社、ローターバッハ社、Western Digital Corporation 社は相互協力のもと、QEMU、SystemC、TRACE32 を使用して一貫した開発環境を提供します。

Coseda Alliance に属する SystemC と QEMU を専門とするフランスのメーカー、GreenSocs SaS 社は、組込みシステム向けのデバッグとロジックアナライザを専門とする、ドイツの開発ツールメーカー、ローターバッハ社の TRACE32 デバッグテクノロジーとの統合を発表しました。統合開発環境は、世界で最大のコンピュータハードディスクドライブメーカーの一つである、アメリカのコンピュータデータストレージ会社、Western Digital Cooperation で使用されています。

統合された開発環境により、Western Digital のソフトウェア設計者は、開発および継続的なテストのニーズに応じて、QEMU および SystemC ベースの仮想プラットフォームモデルを無制限に使用できます。QEMU は、汎用オープンソースのマシンエミュレータ/仮想化ツールです。多数のアーキテクチャの高速 CPU モデルを提供します。IEEE 1666 として標準化されている SystemC は、C ++ クラスとマクロのセットで、イベント駆動型のシミュレーションインターフェイスを提供します。これは、仮想プラットフォームモデルを構築するための標準的な環境です。

GreenSocs 社は SystemC と QEMU 間の高度な連結を提供します。ローターバッハ社は豊富なデバッグ環境を提供し、仮想プラットフォームの最大限の活用を可能にします。GreenSocs 社が提供する統合により、QEMU と SystemC の全性能上の利点（マルチスレッドシミュレーションを含む）を活用することができます。

Western Digital 社の Jun Liu 氏は次のように述べています。「GreenSocs 社は、この統合を実現するために私たちを支援してくれました。今では、同じシミュレーションテクノロジーを使用し、非常に優れたシミュレーション速度で様々なコアアーキテクチャをシミュレーションすることができ、ソフトウェア開発の効率が大幅に向上しました。そして、ローターバッハ社との統合により、当社独自の SystemC モデルとインフラストラクチャで効率的に動作する高品質のデバッグ環境が実現したのです」。

GreenSocs 社の Mark Burton 氏は、「これらの異なるテクノロジーを統合できたことを、大変うれしく思います。これにより、お客様はソフトウェア開発と継続的な統合の両方を包括的に行うことができます。SystemC は私たちを結び付けてくれる接着剤ですが、その使用方法、複数のコアが複数のスレッドを使用できるようにすることで、シミュレーションのパフォーマンスが段階的に変わります。これをローターバッハ社のテクノロジーと組み合わせることで、ソフトウェアおよびファームウェアエンジニアにとって理想的な完全な高性能仮想プラットフォームおよびデバッグパッケージをエンドユーザーに提供することができます」。GreenSocs 社の詳細については、<http://www.greensocs.com/>を参照してください。

「ローターバッハ社は、この度の統合がこのような形で市場に受け入れられ、そしてその革新的な性質が、テクノロジーをリードするという当社の企業精神に沿ったものであることを大変うれしく思います。ソフトウェアとファームウェアのエンジニアは、市場投入までの時間的なプレッシャーの中でワールドクラスのソリューションを提供することが求められています。それを実現してきたからこそ、弊社のお客様は、各分野でトップに居続けられているのです」と国際セールスマネージャーを務める Norbert Weiss は述べています。

LAUTERBACH, TRACE32 μ Trace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.